

何を変え、何を守るのか。

近代建築を使いながら保存していくために、文化遺産としての価値を守りつつ、現代に適した性能をいかに付加するか。



建築と都市の保存再生デザイン 近代文化遺産の豊かな継承のために

田原幸夫 + 笠原一人 + 中山利恵 編 石田潤一郎 + 北河大次郎 + 富永善啓 + 清水重敦 + 中川 理 著

ISBN 978-4-306-04673-3 A5 上製・270頁 定価(本体3,200円+税)

2019年3月刊行

全国の書店もしくはAmazonなどでお求めいただけます。

近年、既存建物のリノベーションが注目を集めており、近現代建築の保存再生というテーマがより身近なものになってきているが、歴史と現代が調和した真に豊かな都市環境づくりには、まだほど遠い状況にある。既存建物の価値を十分に理解していないと思われる、奇妙な保存再生例が都市には溢れている。より多様な既存建物のリノベーションにおいても、優れた「保存再生デザイン」が求められているのである。

序論より

[主要目次]

序論 建築と都市の現在 田原幸夫

1章:基本編——材料から考える

1節 煉瓦造近代建築 田原幸夫

2節 鉄筋コンクリート造近代建築 笠原一人

3節 木造近代建築 中山利恵

4節 近代建築の保存再生デザインにおける共通の課題
..... 田原幸夫+笠原一人+中山利恵

2章:実践編——現代における課題

1節 建築史研究と保存再生デザイン 石田潤一郎

2節 文化財行政と保存再生デザイン 北河大次郎

3節 文化財建造物への構造補強の考え方とデザイン
——文化財の耐震補強を知らずして、文化財の活用を語るなかれ 富永善啓

3章:座談会——Monument からLiving Heritage へ

1節 オーセンティシティとインテグリティを考える

2節 近代文化遺産における活用について考える
..... 清水重敦+中川 理+中山利恵+笠原一人+田原幸夫

資料:文化遺産に関する憲章・宣言集/あとがき(笠原一人+中山利恵) /
「建築都市保存再生学コース」シンポジウム・特別研究会・特別講義の記録

[編者]

田原幸夫 (建築家/京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab 特任教授)

笠原一人 (京都工芸繊維大学デザイン・建築学系助教)

中山利恵 (京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科建築学専攻助教)

[著者]

石田潤一郎 (武庫川女子大学客員教授・京都工芸繊維大学名誉教授)

北河大次郎 (独立行政法人 国立文化財機構 東京文化財研究所 室長)

清水重敦 (京都工芸繊維大学教授)

富永善啓 (株式会社 文化財構造計画代表取締役)

中川 理 (京都工芸繊維大学教授)

[発行]

株式会社 鹿島出版会

〒104-0028 東京都中央区八重洲 2-5-14

TEL: 03 (6202) 5200 (代表) MAIL: info@kajima-publishing.co.jp

鹿島出版会の情報発信

WEB: <http://www.kajima-publishing.co.jp>

Facebook: <https://www.facebook.com/kajima.publishing/>

